令和３年５月７日

川崎市長　福田　紀彦　様

自由民主党川崎市議会議員団

新型コロナワクチン接種体制の強化についての緊急要望書

新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種は、本年 2 月より医療従事者等への接種が開始され、順次高齢者への接種へと進められております。

この間、ワクチン接種への対応につきましては、医療従事者をはじめ、本市関係各局区の皆様に、改めて敬意と感謝を申し上げます。

本市においても、既に接種券を発送し、4 月 24 日より予約を受け付けましたが、予約開始日には電話あるいはオンライン予約が殺到し、システム障害により受付ができないとの状況に陥り、多くの市民からの苦情や接種体制に対する不安を与える結果となりました。

担当部局の早急な対応もあり、翌 25 日には当該不具合は改善されたものの、既に予約受付が終了してしまいました。また、個別接種を受け入れる協力医療機関には過大な負担を強いる可能性もある中で、65 歳以上 74 歳以下の予約開始を延期するなど、市民の不安は未だ払拭することはできていません。

今後は、大幅なワクチン供給増が見込まれますが、同様の混乱を発生させない為にも、効率的かつ現実的に、市民の皆様に安心して接種いただけるよう、接種体制を的確に強化されることを主眼とし、以下、要望いたします。

1. ワクチン接種は、既に接種券が届いている 75 歳以上の市民が、優先的かつ確実に接種できるよう配慮すること
2. 市民対応にあたっては、コールセンター機能の充実に加え、ウェブサイトでの情報提供のみに頼らない周知方策を講ずること
3. 65 歳以上 74 歳以下の市民へのワクチン接種については、ワクチン確保についての確実な情報に基づいて、公表及び接種券の発送を行うこと
4. 国及び県の動きを十分に踏まえ、より細かい年齢あるいは属性ごとの段階的接種も検討し、現実的な接種スケジュールを策定すること。また、すべての対象市民が接種できるという安心と見通しにつながるよう、わかりやすく公表すること
5. 個別接種にあたっては、協力医療機関に対して、増加が見込まれる事務負担を十分に考慮し、必要な支援、又はその負担軽減に対する措置を早急に構築すること
6. 集団接種にあたっては、ワクチン供給量に相応するよう先んじて、未利用の医療機関や公的施設等の活用を含め、接種会場の確保に向けた協議を進めること